



## チームみんなで力を合わせて

### 労政協親善ソフトボール大会

第30回労政協親善ソフトボール大会が7月18日から5日間の日程で市民運動公園で開催されました。

同大会は、勤労者の相互の親睦と体力向上を目的に毎年開催されており、今回は15チーム（約300人）が出場しました。選手たちは、会社の同僚や家族、チームメイトからの声援を受け、白熱した試合が繰り広げられました。決勝戦の後半、怒涛の追い上げで逆転したJ-POWERグループキャプテン毛利さんは「2連覇を目指して大会へ挑んだ。勝てて良かった」と喜びを語りました。上位の結果は次の通りです。

【優勝】J-POWERグループ

【準優勝】中興化成工業株式会社 【第3位】九州機電工事



## 子どもたちの健全育成を願って

### 防犯少年ソフトボール大会

第28回松浦地区防犯少年ソフトボール大会（松浦地区少年指導員連絡協議会主催、松浦警察署共催）が7月22日、松浦市民運動公園で開催されました。

大会には市内から2チームが出場し、選手たちは青空の下、声援を受けながら熱戦を繰り広げました。両チームは8月に開催される県大会に出場します。

大会の結果は次のとおりです。

【優勝】松浦フェニックス

【準優勝】御厨少年ソフトボールクラブ



## 地元漁師さんの手作り「海の市」！

### 第7回鷹島「海の市」

第7回鷹島「海の市」（鷹島地区活性化協議会主催）が7月16日、鷹島町の新松浦漁協漁業体験学習施設で開催されました。

鮮魚販売・手作り加工食品販売、魚のつかみ取り、マグロの解体ショーや即売会などが行われ、新鮮な魚を求めて市内外から多くの買い物客や家族連れでにぎわいました。

また、会場で購入した魚介類をその場で焼いて食べることができるセルフ魚焼きコーナーや、唐津商業高校の生徒たちが運営する学美舎の商品の出張販売もありました。

大人も子どもも「さかな」を楽しめるイベントになりました。



## 青島の“うまかもん”を満喫

### 青島海のうまかもん祭り

第3回青島海のうまかもん祭りが7月23日、青島港周辺を会場として開催されました。

青島かまぼこ、アジなどの即売会や先着100人に魚のすり身汁の無料配布が行われ、多くの来場者が、会場で販売されている島ガキやサザエなど、青島の新鮮な海産物のバーベキューを楽しみました。魚のつかみ取りコーナーでは、子どもから大人まで、プールを元気よく泳ぐ鯛やハマチに苦戦しながらも、懸命に捕まえていました。

また、当日は松浦松之介も会場に駆けつけ、さわやかな夏空の下、盛りだくさんのイベントで楽しいひとときを過ごしました。



## 学んで食べて遊んで一日満喫

まるごと一日お楽しみ DAY・コズミックカレッジ

夏休みスペシャル「まるごと一日お楽しみ DAY」が8月6日、文化会館で開催されました。

JAXAの協力により科学教室「コズミックカレッジ」が開催され、宇宙をテーマにしたお話やロケットの基礎知識などを親子で楽しく学び、作った水ロケットを空高く打ちあげました。また、松浦ウインドオーケストラや松浦高校吹奏楽部の演奏会、ミニ縁日、飛び出す3D恐竜映像コーナーなど、さまざまなイベントが企画され、たくさんの家族連れでにぎわいました。また、飲食ブースでは、松浦お3時プロジェクトの協力により市内の人気店の味を楽しむなど、みんなで学んで、食べて、遊べる一日になりました。



## 熱演に心が揺さぶられる

第22回長崎県子ども舞台芸術祭典松浦公演

劇団うりんこの舞台劇『はぐれ峠のわらい鬼』の松浦公演が7月22日、文化会館で開催されました。

この事業は、子どもたちに生の舞台芸術に触れてもらいたいと松浦子ども舞台芸術祭典実行委員会が主催し、毎年行われています。

本作品は、浜田廣介<sup>ひろすけ</sup>さんの絵本「泣いた赤鬼」の後日談をヒントに作られた劇団うりんこオリジナル作品で、失ってしまったものや本当の気持ちを大切な人と分かち合うことを描いたお話です。

劇団の皆さんの熱演に、子どもだけでなく大人も引き込まれ、たくさん笑って、泣いて、会場は感動に包まれました。



## 新しいALTが着任

新規外国語指導助手の契約・調印

新しくALTに着任するダニエル・ジョン・サンドストロムさんの契約・調印式が7月27日、市役所で行われました。

市内の小・中学校で英語指導を行い、自然に英語でコミュニケーションをとることの楽しさを子どもたちに伝えていきます。

ダニエルさんは、「出身国オーストラリアの歴史や文化を教えていきたい。また、自分自身が日本語を学んで人生が変わったので、子どもたちにも言葉だけではなく学ぶ楽しさを伝えていきたい」と抱負を述べました。



▲右から2番目がダニエルさん

## 言葉の美しさと響きの共演

第27回西海短歌祭

第27回西海短歌祭が7月29日、文化会館で開催されました。

県内の短歌愛好家らでつくる西海短歌連盟（山口礼子<sup>れいこ</sup>会長）が出詠者<sup>しゅうじや</sup>同士で学習しながら親睦を深め、地域の文学の発展につなげたいと毎年開催しています。

この日は32人が参加し、作品の意見や感想を語り合ったり、1首の構造分析や思考を通して言葉の持つ意味深さなどを学びました。事前に寄せられた短歌58首の作品の中から互選の部・選者選の部の入選作品が決まりました。市内からの入選者は次の通りです（敬称略）。

【互選の部】秀作 西日本新聞社賞 尾田眞<sup>みつ</sup>  
秀作 西海短歌連盟賞 金子壽美<sup>しゆみ</sup>

【選者選の部】《山村孝 選》 尾田眞

